MODEL-5852

heisei techono

木製クラッシックラジオ
”平成テクノ”

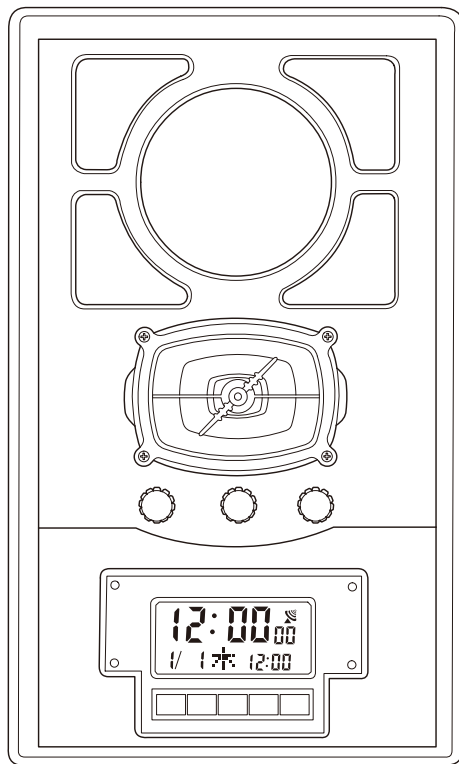
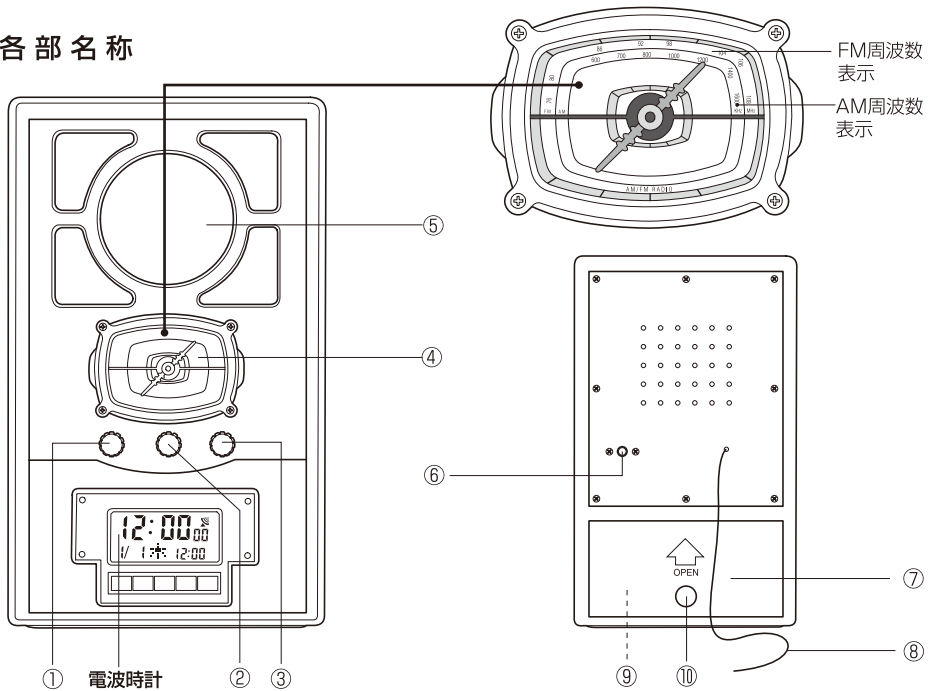
取　扱　説　明　書

このたびは「木製クラッシックラジオ”平成テクノ”」をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

5852-06-03

1 各部名称

FM周波数表示
AM周波数表示

⑤
④
⑥
⑦
⑧
① 電波時計 ② ③ ⑨ ⑩

① AM/FM切替ダイヤル　② 選局ダイヤル　③ 電源・音量ダイヤル　④ 選局表示ウィンドウ
⑤ スピーカー　⑥ DCジャック　⑦ 裏カバー　⑧ FMアンテナ　⑨ 電池ボックス（内部）
⑩ 裏カバー開閉用指かけ穴

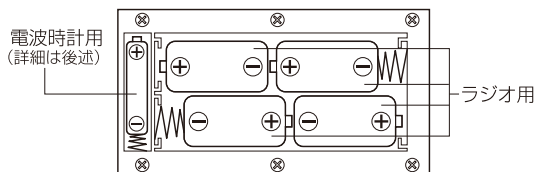
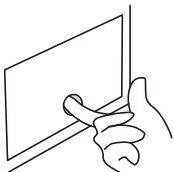
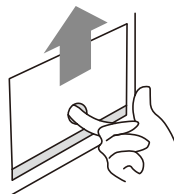
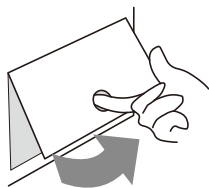
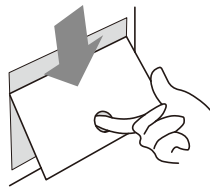
2 電源について（ラジオをお使いになる前に）

○ 家庭用のコンセントでお使いになる場合

付属のAC/DCアダプターでご家庭のコンセントと本体裏側の⑥DCジャックと接続してください。

※付属のクラッシックラジオ専用アダプターをご使用になる場合は、別紙の取扱説明書をご覧ください。またAC/DCアダプターをご使用の際には乾電池をすべて外してからご使用ください。

○ 乾電池でお使いになる場合

本体裏側の⑦裏カバーを開け、⑨電池ボックスに付属の単2乾電池×4本を⊕⊖の方向に注意して、セットしてください。

裏カバーの開閉の仕方

1.裏カバーにある開閉用指かけ穴に指を入れます。

2.開閉用指かけ穴に指を入れたら、そのまま軽く、上に押し上げます。

3.裏カバーを、押し上げると、少し浮いた感じがします。
そのまま手前に軽く引き寄せると浮き上がります。

4.裏カバーが浮き上がったら、次に下へスライドさせると外れます。

5.裏カバーを、元に戻す場合は 1～4 を逆の手順でおこなってください。

3 ラジオ使用方法

1.①AM/FM切替ダイヤル回して、AMかFMかいずれかを選んでください。

2.③電源・音量ダイヤルを右に回すとスイッチが入り、音量が上がりますので、お好みの音量に調節してください。

3.②選局ダイヤルを回してお好みの局にあわせてお聴きください。

4.FM放送をうまく受信するには、⑧FMアンテナを動かして、壁や柱などにはわせて、一番良く聴こえる位置に固定してください。

5.AM放送をうまく受信するには、一番良く聴こえる方向にラジオ本体を動かしたり、向きを変えてください。

6.ラジオを聴き終えてスイッチを切る場合は、③電源·音量ダイヤルを「カチッ」と音がするまで、左に回してください。

※FM電波はその特性上、室内など場所によって受信しにくい場合があります。その際はFMアンテナや本体を電波の受信状況の良い場所を選んで使用してください。

4 メンテナンス

1.長期間ご使用にならない場合は乾電池を本体から外してください。また、AC/DCアダプターをコンセントから抜いてください。

2.気温が40℃以上の場所には設置しないでください。

3.テレビや電子レンジの側などの磁力の強い場所には設置しないでください。

4.本体に強い衝撃を与えないでください。

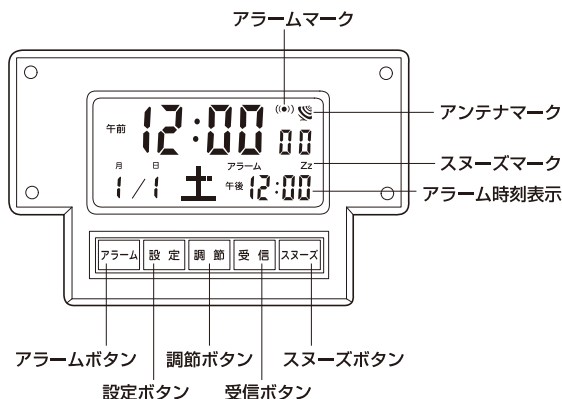
5.本体をベンジン·シンナーや洗剤·研磨剤などで磨かないでください。汚れた時は乾いた布や、水で濡らして固く絞った布などで拭き取ってください。

仕　　様

電　　源：単2乾電池×4本（付属）、AC/DCアダプター（付属）/ DC6V・450mA －⊸⊙⊸＋
周 波 数：A M　540-1600KHz、F M　76-108MHz
スピーカー：8Ω
インピーダンス
出　　力：0.5W
使用温度：-10～40℃

※上記の製品仕様は改良のために予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ 電波時計使用方法

本製品のもうひとつの機能、電波時計はラジオ部分とは別回路で構成されています。ここからは、電波時計の使用法方について記しています。ラジオの取扱説明と合わせてこちらもよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

5 電波時計用の電池を入れる

1. 項目 2 の図を参照して付属の単4電池1本を電池ボックスに ＋ － の方向に注意してセットしてください。
2. 正しく通電すると『ピピピッ』と音が鳴り液晶表示が出ます。（1月1日、12：00と表示され、秒が進んでいるはずです。）
3. 表示画面下、右から2つめの［受信］ボタンを一度押すと、画面右上角に受信状態を示すアンテナマーク が点滅します。受信状態が良好な場合、4本の電波マークが点滅し、受信を開始します。
4. 野外、庭先、ベランダ、空の見える窓際など受信環境の良い場所で5～10分程度で受信に成功するはずです。
5. 受信に成功するとアンテナマークが**点滅**から、すべて**点灯**状態 に変わります。時/分/秒、月/日/曜日が正しく表示されているはずです。**（受信できない場合はアンテナマークがすべて消滅します。）**

6 受信に成功しない場合

1. 場所を変えて再度［受信］ボタンを押して、しばらくお待ちください。
2. それでもうまく受信できない場合は手動で**時刻、年/月/日**を合わせてください。(次項7 参照)
3. 一度受信に失敗した場所でも、翌朝に成功している場合もあります。(夜中は上空の電離層の状態が良くなりますので受信の可能性が大きくなります。)
4. また送信局のメンテナンス工事などで送信が中断している場合もありますので、ご了承ください。（通常受信している場所でも、その時は受信できません。）

7 手動での時刻合わせ

電波がうまく受信できない場合は、手動で時刻、年/月/日を合わせることができます。
※この時電波マークが点滅していない事を確認してください。（受信中はボタンが機能しませんのでご注意ください。）

1. ［設定］ボタンを3秒程押すと、ピッと鳴り**"西暦年"**が点滅します。［調節］ボタンを押して合わせてください。（曜日は連動して変わります。）
2. 次に［設定］ボタンを押すと**"月"**が点滅します。［調節］ボタンを押して合わせてください。

3.同様に 設 定 、 調 節 ボタンで **"日" → "時" → "分" → "ゼロ秒"** を合わせてください。

4.最後に 設 定 ボタンを一度押して、通常表示にしてください。
※時制は12時間制です。**「午前」「午後」**の表示が出ます。

8 アラームの設定

1.アラーム ボタンを3秒程押し続けると『ピッ』と鳴って、画面右下の**"時"**が点滅します。

2. 調 節 ボタンを押して**"時"**を合わせてください。

3.再度 アラーム ボタンを押すと**"分"**が点滅しますので 調 節 ボタンで**"分"**を合わせてください。

4.最後に アラーム ボタンを再度押して時/分設定が終了です。

5. アラーム ボタンを1回短く押すと画面右上にアラームマーク **((●))** が点灯します。これで設定時刻になるとアラーム音が鳴ります。

6.再度 アラーム ボタンを押すと **Zz** のマークが表れます。(これは「スヌーズマーク」でアラームを止めた後でも5分後に再びアラーム音が鳴り、居眠り防止機能を意味します。)

※一度アラーム音を止めた後、うっかりまた寝てしまう事を防止するために、この設定をされておく事をお勧めします。(次項 9 -1.参照)

※アラーム設定を解除するときは、アラーム ボタンを1回押してください。**((●))**、**Zz** マークがすべて消滅し、アラーム、スヌーズ解除となります。これでアラーム音は鳴りません。

アラーム音の止め方

◎ スヌーズ設定している時:((●))、Zzが表示されている状態

1.スヌーズ ボタンを押すとアラーム音は一旦鳴り止みますが、約5分後に再び鳴ります。(居眠り防止機能)アラーム音は5分毎に繰り返され、スヌーズ機能が有効な間、**Zz** マークは点滅しています。

2.アラームを完全に止めたい場合は、画面下 スヌーズ 以外の4つのボタンのいずれかを押してください。

◎ アラーム設定のみの時:((●))のみが表示されている状態

どのボタンを押しても鳴り止みます。

西暦年の確認

通常表示の時に、西暦年を確認したい場合は 設 定 ボタンを1度押してください。西暦年が表示され、約4〜5秒で自動的に通常表示に戻ります。

11 表示確認ライト

通常表示の時、本体上部の スヌーズ ボタンを押すと画面右横からバックライトが約5秒間点灯します。暗闇で時刻表示を確認したい時に便利です。

電波時計について

●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

郵政省が運用している時刻情報をのせた電波で、福島県（40KHz）と佐賀県（60KHz）で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

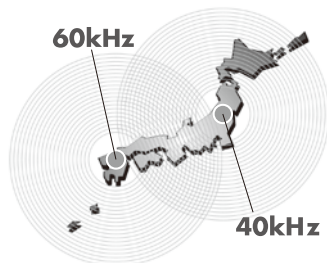
●電波受信について

送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000～1200Kmです。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

〈ご注意〉

※標準電波は、毎時15分と45分の各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。

※電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。このような時は、場所を変えて本体背面のRESETボタンをボールペンなどの先の細いもので押して設定し直してお使いください。

※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

●使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

※ビルの中、ビルの谷間、地下。 ※高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。 ※テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。 ※工事現場、空港の近くや交通量の多い所など、電波障害の起きる所。 ※乗り物の中（自動車、電車、飛行機など） ※スチール机等の金属製の家具の上や近く。

●電波時計のしくみ

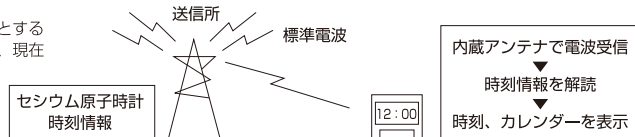
超高精度のセシウム原子時計を源とする時刻情報を持つ標準電波を受信し、現在時刻を表示します。

送信所

標準電波

セシウム原子時計
時刻情報

12:00

内蔵アンテナで電波受信
▼
時刻情報を解読
▼
時刻、カレンダーを表示

使用場所・お手入れ方法

■使用場所：つぎのような所では、使わないでください。

●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所　●温度が40℃以上になる所。例えば、直射日光が当たるところ、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、その他火気に近い所　●浴室など湿気の多い所　●強い磁気や振動がある所　●電波ノイズを発生させるものの近く

■お手入れ方法：日常の手入れの仕方

●わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。　●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。　●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。　●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。　●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。　●温度が高くなるとパネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。　●パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

●液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になった時は、それぞれの応急処置を行ってください。

※皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。

※目に入った場合：きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

※飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の手当てを受けてください。

電波時計部仕様

精　　度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）

表示精度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）

使用温度範囲：ー10℃～40℃　ただし、表示判断可能温度範囲　0℃～40℃

アラーム：電子音アラーム　1分間オートストップ、
約5分間スヌーズ、デイリーアラーム機能付（翌日も同じ時刻にアラームが鳴る）

アラーム精度：表示に対し±0秒

カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日フルオートカレンダー

使用電池：単4電池1本（付属）

電池寿命：約1年（アラームを1日1回、使用した場合）

電波受信機能：自動受信は毎日、午前1時と4時に行います。（時計表示上の時刻にて）

※上記の製品仕様は､改良のため予告なく変更する場合があります。

⚠ ご使用上の注意

●小児の手の届かない所でご使用ください。

●お手入れの際は本体をコンセントから抜いてください。またベンジン・シンナーや洗剤・研磨剤などで磨かないでください。また液状や霧状のものは使わないでください。汚れた時は乾いた布や、水で濡らして固く絞った布などで拭き取ってください。

●浴室や洗面台などの水や、湿気の多い所でご使用にならないでください。

●本製品をワゴンやキャスターおよび固定されていない棚の上などに設置しないでください。落下による破損・故障はもとより、大きなケガにつながる怖れがあります。

●本製品を過熱状態から守って正しくご使用いただくために、換気にご注意ください。棚の中に入れている場合は、扉を開閉してください。またベッドやラグ、ソファーの上には設置しないでください。換気に適さない場所でのご使用はお避けください。

●本製品の電源については､付属のAC/DCアダプターに表示されている規格に従ってください。もし、規格に合わない場合は電器店もしくは電力会社にお問い合せください｡また、乾電池を使う際も、取扱い説明書を参照してください。

●付属のAC/DCアダプターは交流電源用となっております。ご家庭のコンセントで使用できない場合は電器店に確認してください。

🛇 警　告

●電源コードは吊り下げたり、コード上を歩いたり、負荷がかかる状態で使用しないでください。また、本製品はコンセントの近くに設置してください。

●雷雨時の安全、および長期間使用しない場合はコンセントからAC/DCアダプターを抜いてください。また乾電池でご使用の場合も、長期間使用しない場合は本体から電池を外してください。長期間放置すると液漏れを起こし、故障の原因となります。

●コンセントとの接続は他の製品との、タコ足配線にならないようにしてください。

●製造元が推奨していない、付属品は使用しないでください。

●危険ですので本製品を分解･改造は絶対にしないでください。

●壁、または天井への設置はお止めください。

●暖房器具・エアコンなど、熱を生じる器機の側に設置しないでください。

●設置場所は直射日光の当たる場所や、極端に温度差が生じる場所はお避けください。またモーターなどの雑音がある場所からも遠ざけてください。

●回路設計にダメージを及ぼしたり、電気ショックを引き起こす危険がありますので、不必要に本体内部を開けないでください。

●種類や残量の違う乾電池を混ぜて使わないでください。

●AC/DCアダプターをコンセントから抜く時は直接アダプターを持ってください。コードを引っ張らないでください。

保守サービスについて

以下の状態になってしまった時はコンセントからAC/DCアダプターを抜き､購入店もしくは弊社までご連絡ください。

●電源コードまたはAC/DCアダプターが損傷した場合　●液体をこぼしたり、本品の内部にものを落とした場合　●本品が雨や水にさらされた場合　●取扱説明書の記載内容に従ってご使用されても、正常に機能しない場合(適切な操作をされても正常に機能しない場合のみ補償させていただきます）●何らかの理由で本品を落としたり、破損した場合　●商品が変形した場合

部品交換が必要な場合は必ず販売店もしくは弊社までご連絡ください。不適切な部品を使用されると、出火、感電など、その他の危険やケガの原因となることがあります。